2024　一般社団法人　三重県作業療法士会

認知症とともに班　活動報告

三重県作業療法士会では、①知識と技術の研鑽の場づくり、②OTが地域に出て活動するための仕組みづくりを目的に、2017年度から認知症作業療法推進委員会（現、認知症とともに班）が発足し活動している。 2021年度から活動目標を**「認知症フレンドリー社会を目指す」**と掲げ、下記の活動を実施している。2024年度はより地域実践ができる人材を育成するとともに、県の施策や他団体、企業と協力できる準備と実践を行っていきたい。

① 認知症フレンドリー社会：買い物（2021-2023）、本人ミーティング（2024）

- 2021年度:講師による講演や認知症とともに班にて取組（北勢地区の現状、買い物に関する現状と課題、スーパーとの情報交換）を実施
- 2022年度:当事者班と企業班に分かれて活動。企業班では移動スーパーへの聴き取り、スーパーの店員へのアンケート作成を実施。
  当事者班では県内のOTが携わっているスローショッピングにて当事者とともに買い物を行い、生活行為工程分析表（PADA-D）を用いて分析を行った。研修では、伊勢市でスローショッピングをしている山川伸隆医師より講演。
- 2023年度：地域の小売業2店舗、79名の店員に高齢者の買い物に関するアンケートを実施。
  結果は、難聴の方とのコミュニケーションが課題に挙がったため、対応方法の資料を作成し提供した。
- 2024年度：作業療法士の力を本人発信の推進に活かすことを目指して、当事者の意見を丁寧に聴取し、発信する場や仕組みの構築を図る。
  地域で本人ミーティングを開催し、研修会にて方法と結果を報告する。

② スキルアップ研修会

2021年度から三重県地域医療介護総合確保基金事業を活用。「施策に基づいて創出されている地域の多様な資源・取組についての知識の普及」「地域生活を視野に入れた臨床支援を展開できるスキルの研鑽」「行政等と連携して地域の資源に参画し、専門性を発揮できるスキルの研鑽」を目的に、地域における認知症リハビリテーションの視点と地域における実践報告を実施。

2020年度：IADLの工程分析と介入
2021年度：地域実践
2022年度：予防事業
2023年度：当事者団体や企業連携
　　本人発信支援事業
2024年度：本人と家族を支える視点

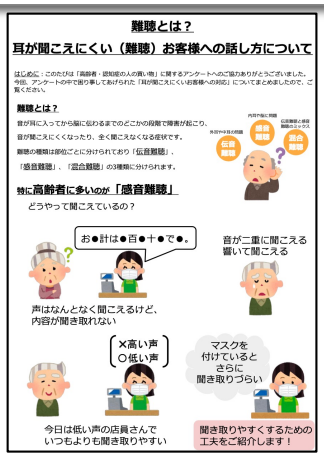
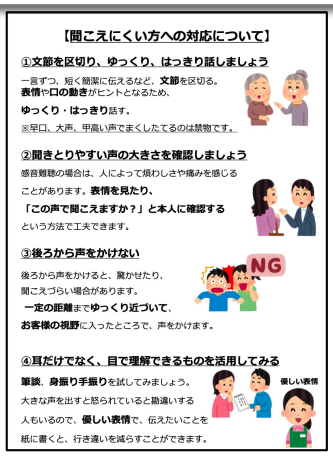
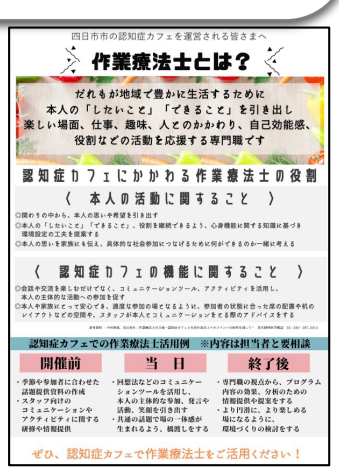
Mission1:
知識と技術の研鑽の場づくり

認知症フレンドリー社会を目指す

Mission2:
ＯＴが地域に出て活動するための仕組み作り

③ 認知症カフェ 回想法勉強会

2022年度は県内の認知症カフェより「認知症カフェの運営支援」で43回、「当事者における交流支援＋人材育成」で37回依頼があった。2020-22年度に実施した回想法勉強会では延べ257名が育成されたが、地域実践に至っている方が少なかったため、2023年度はメモリーカフェ'日永'、2024年度は渚茶カフェと連携し、実習できる形を構築。座学で年３回「認知症カフェ・回想法勉強会」、座学受講者の希望者と実習を実施。2023年度の座学は89名、実習は10名（延14名）が参加。実習後に他のカフェに参画した方が5名いた。

④ 関係機関との連携

- **認知症の人と家族の会**：若年のつどい世話人にOT2名、世界アルツハイマーデー記念講演会にOT3名、ピアサポート事業にOT2名が運営支援に参画
- **三重県**：2021年度OT2名、2022年度OT2名、 2023年度OT1名がチューターとなり、県内チームオレンジ支援
- **四日市市**：2022年度より依頼のあった認知症カフェにOTを推薦し運営支援（2023年度は3箇所）。チラシ（OTの役割）作成。
- **メモリーカフェ'日永'**：2016年度よりOT数名が参加。開催前・当日・終了後にOTの視点で関わっている。
- **みはらぼ**（就労・生きがい支援）：2022年度よりOT数名が参加。洋裁における支援や人材育成で携わる。
- **RUN伴四日市**：後援依頼をいただき、OT数名が実行委員として参加。当事者、他団体、企業と協力連携。